



### アクティーで教養講座

大渡町二丁目にある前橋アクティーで、料理や生け花などの後期教養講座が始まりました。仕事帰りに仲間と楽しく教養を身に付けようと多くの勤労青少年が参加。料理講座が行われた会場では、男女が仲良く協力し合いながら、料理を作りました。



### リズムで楽しく運動

9月11日、前橋プラザ元気21で、後期はぐはぐ教室の第1回目「親子で遊ぼうリトミック」を開催しました。会場は子どもたちの笑い声が響き渡り、終始和やかな雰囲気。親子43人が参加し、音楽や歌に合わせて楽しく体を動かしました。

### 敷島公園松林でイベント

ふれあいバザールが9月14日、敷島公園松林で開催されました。衣類や小物などのフリーマーケットやミニSL、ゲームコーナーなど大にぎわい。また、ステージ発表や健康相談、計量体験なども行われ、子どもからお年寄りまでが楽しく過ごしました。



### ガラス絵で賢治の魅力を

ことしは宮沢賢治の没後75周年。それにちなみ、前橋文学館でガラス絵作家・見玉房子さんの作品を集めた「宮沢賢治の世界」を開催。訪れた人たちはガラス絵が描く賢治の世界に見入っていました。



### 集中すること道が開ける



暗算検定十段に合格

石川 俊介さん・16歳  
文京町一丁目

全国珠算教育連盟が主催する暗算検定試験で最高位の十段に合格した。暗算十段は、掛け算や割り算、見取り暗算の3部門各40問をいずれも3分の制限時間で行う試験。各部門38問以上の正解が必要な難関。「目標が達成でき本当にうれしかったです。合格できたと思っていましたが、合格通知がなかなか届かなくて心配しました。この知らせはそろばん教室の尊敬する先生に一番伝えたいですね」

4歳の時に母がそろばん教室に通わせてくれたのがきっかけ。「物覚え付いたころから、車のナンバーやカレンダー、時計など数字にとても興味を持っていたと両親からも言われるんです」

学の際に九段まで合格した。「野球部の活動や高校受験などが重なり一番辛い時期。やめずに続けてきて良かったと思っています」

上達の決め手は、目の前の問題に集中する持続力だという。「試験では時間がないので自分の頭の中で計算した答えを解答用紙に書くまでの記憶力も大切です」

自宅では、テレビを見たりしてリラックスして過ごすのが好き。問題に集中できないので、暗算や珠算の練習は自宅ではしないという。「集中できる雰囲気の中で練習するようにしています」

現在前橋高の1年。好きな教科は数学。将来は大学で経済学を学び、公認会計士を目指したいと目を輝かせながら笑顔で語った。

### 若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

#### ◆入選 月のひかり

中川小3年  
寺嶋 惇さん

月のひかりにてらされて、  
しずかなよるをむかえよう。  
月のひかりにてらされて、  
しずかに朝をむかえよう。

天の川という大きな大きな川を  
銀色のうろこを付け  
天の川をすすんでいく  
どこへ行くのだろう  
魚がいつぱい  
銀色の夜空

#### ◆入選 トマト

荒牧小6年  
加藤 愛美さん

月は形をいろいろかえる。  
丸くなったり、  
バナナみたいになったり。  
月は大きくなっていく。  
小さくなって、きえるけど。

月のひかりにてらされて、  
しずかなよるを楽しもう。  
月のひかりはうつくしい。

#### ◆入選 銀色の夜空

駒形小5年  
雉岡 慧也さん

夜空・・・いやあれば海  
きらきら輝く銀色のうろこ  
夜空の海を泳ぐ魚たち  
時に七月

わたしは青いトマト。  
いつも泣いている。  
ある時、虫がいった。  
きみだけ、どうして青いんだい。  
ある時、葉がいった。  
きみは、どうして泣くんない。  
自分でもよくわからなかった。  
その時、太陽がいった。  
迷ったら、立ちどまって考えてこらん。  
きつと答えがでる。  
心の底があたたかくなった。  
力をふりしぼって考えた。  
ポッ。  
気がつくとも体が赤くなっていた。  
泣く気持ちもなくなった。  
わたしは赤いトマト。  
いつも笑っている。